

高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務企画提案書等作成要領

広島県が実施する「高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務」（以下「本業務」という。）に関し、公募型プロポーザル参加者が企画提案書を作成するに当たって必要な事項を定めるものである。

公募型プロポーザル参加者は、本業務の公告、公募型プロポーザル説明書及び「高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務仕様書」（以下「仕様書」という。）を確認の上、この要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 企画提案時の提出書類

- (1) 企画提案書提出届 1 部
- (2) 企画提案書 正本 1 部、副本 6 部
- (3) 要求仕様確認書 正本 1 部、副本 6 部
- (4) チラシ案 正本 1 部、副本 6 部
- (5) 業務実績説明書 正本 1 部、副本 6 部
- (6) 業務委託見積書 正本 1 部、副本 6 部
- (7) (2) ～ (6) の正本電子データを収めたCD/DVD 1 部

2 作成要領

(1) 一般事項

- ア 用紙は、原則 A 4 版両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- ウ 審査の公正を期するため、企画提案書及び業務実績説明書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。
なお、体制表などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。
- エ 企画提案の内容については、他からの無断転用を禁止とする。

(2) 企画提案書（任意様式）

仕様書を参照の上、次の事項について記載した企画提案書を作成すること。

区分	記載事項
1 実施方針	・仕様書に記載する本業務の「目的」等を踏まえた提案者の注力事項など基本的な考え
2 セミナー運営	・体制表 ・オンライン配信同時配信の方法 ・アーカイブ配信の考え方 ・その他提案
3 広報戦略	・広告手法・戦略（広告媒体、出稿時期・回数、ターゲット、リーチ数根拠、目標参加者数等） ・取材誘致手法（方法、期待誘致数、誘致予定メディア等）

(3) 要求仕様確認書（様式7）

「対応」及び「実施方法」欄をすべて記入すること。

「対応」欄は仕様書の各項目の実施可否を以下の凡例により○△×のいずれかを記入すること。

○：仕様書を満たすように実施可能

△：一部実施できない項目があるが、協議の範疇と考えるもの

×：実施しない又は実施できない事項あり

（要否が必須のもので×の場合は原則最低点となるので留意すること）

「実施方法」は、「対応」が○で特にコメントすべき事柄のない場合は「仕様書どおりに実施」、企画提案書に記載の場合は「企画提案書参照」と記入すること。

本委託の目的を踏まえ、仕様を上回る内容であることが示されているものを高く評価する。一部実現できない項目があっても代替案や費用との兼ね合い等検討がなされているものは評価し、仕様と異なる方法により効果の高い提案がなされている場合は高く評価する。

(4) チラシ案（A4版カラー両面刷）

以下の留意点及び後頁「提案書チラシ案用セミナー構成案及び素材」に基づいて仕様書6(4)アの要件を満たすチラシ案を作成すること。

- ・提案する事務局設置情報や申込案内、オンライン同時配信を踏まえ、メディア等との共催・後援等を提案する場合は表記も踏まえて作成すること。ただし、プロポーザル参加者が分かるものや未定の情報（事務局名・所在地・電話番号・URL等）はダミーを用いること。
- ・全プログラムの時間などすべての情報をチラシに掲載する必要はない。
参加者に必要十分が情報が伝わるよう適宜取舍選択すること。
- ・画像についてはカンパ用素材やラフ、会場案内は地図アタリで差し支えない。契約後、必要に応じて受注者が撮影又は購入した画像に差し替えること。
- ・キャッチコピーやリード文を入れる場合は、必ずチラシ案で表現するコンセプトに基づいて原案を記載すること。講師経歴等を盛り込む場合、経歴等はダミーで粒度を示すこと。

※今回提案の全体トーンやレイアウトの考え方に基づいて第1回目のチラシを完成させるものとする。ただし、下記の情報は、第1回のセミナー内容と必ずしも一致せず、講演タイトル、講師所属・氏名・写真、県HPは必ず差し替えとなる。

また、リード文等がある場合は、原案に沿って県が内容を修正する場合がある。

(5) 業務実績説明書（様式8）

令和3年4月1日から令和8年2月14日までに（過去約5年間）において、「高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務」と同等のセミナー運営及び広報業務について集客人数とあわせて記載すること。

なお、上記期間内に業務が開始しているが、期間内で完了していない実績については、業務終了の見込みの時期を記載すること。

(6) 業務委託見積書（任意様式）

見積書は提案書と別に作成し、仕様書を熟読した上で、本業務に係る所要経費を見積ること。

ア 所要経費の見積

本業務に係る所要経費については、次のとおり見積ること。

イ 所要経費の内訳

見積の根拠となった所要経費の内訳（項目、数量、単価、金額等）を記載すること。

3 審査方法

提出された企画提案書、要求仕様確認書、チラシ案及び業務委託見積書に基づき「高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務評価基準」による書面審査を実施し評価する。

高度医療・人材育成拠点県民公開セミナー運営等業務 提案書チラシ案用セミナー構成案及び素材

セミナー名	高度医療・人材育成拠点（新病院）県民公開セミナー
テーマ	最新のがん治療：新病院へつなぐ高度医療
共催	地方独立行政法人広島県立病院機構・一般社団法人広島県医師会
主幹	広島県健康福祉局医療機能強化推進課
開催日時	2026年7月5日（日） 13:00～15:40
会場名等	広島県医師会館 1階ホール 定員300名 （広島県広島市東区二葉の里3-2-3）
県HP	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/koudoiryou-jinzai/example.html
申込締切	2026年6月24日（水）
プログラム	
12:30	開場
13:00	開会の挨拶 広島県医師会 会長 松村 誠
13:10	高度医療・人材育成拠点とは 広島県健康福祉局 医療機能強化担当部長 渡部 滋
13:30	座長挨拶 大化国際大学大学院 学際医学専攻 第一内科 教授 辻 道成
13:40	基調講演 「がん医療のいま」 県立エキキタ病院 院長 高橋 洋一
14:00	休憩
14:10	講演1 「大腸癌の最新治療」 県立広島病院 消化器外科 主任部長 萩野 純
14:35	講演2 「膵臓癌の最新治療」 県立安芸津病院 消化器外科 部長 相磯 英雄
15:00	休憩
15:10	講演3 「肝臓癌の最新治療」 県立二葉の里病院 外科 部長 萩原 栄一
15:35	閉会の挨拶 広島県立病院機構 理事長 栗井 和夫



座長



基調講演講師



講演1 講師



講演2 講師



講演3 講師

「高度医療・人材育成拠点」の説明

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・循環する機能を有する「高度医療・人材育成拠点」として、県立広島病院・二葉の里病院・中電病院・HIPRACが一体となり、広島県北口の広島市東区二葉の里に新しい病院を整備する予定です。

ロゴ・新病院パース図

